情報セキュリティ 情報セキュリティ ボーボプログラム対検	要件NO.	大項目	中項目	小項目	要件	
2 (マル)・フジェ 本市域でのネットフーの場合を利用するに (マル)・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン					職員の利用するクライアント端末及びプリンターは本市が導入している機器を使用	
1					する。	
2					ネットワークは、本市既存のネットワーク環境を利用する。	
### 100Mbps					・クライアントパソコンが利用するLGWAN接続系のネットワークの回線速度は以下	
### 2 ***					のとおり。	
#					庁内:100Mbps	
### 1					・本市の庁内ネットワークと接続する回線の回線速度は次のとおり。	
### 1				W. n	LGWAN接続回線速度:100Mbps	
### でおり、以下のスペップを構造れている。	1				·	
2 サービス提供環境 CPU: 2.27年割当 メモリ: 6G8 OS: Windows11Pro (22H2) SDD: 100GB Jラヴナ: Microsoft Edge Office: Office Standard 2016 クライアントでは壊かまた。有線・偏線 目次によるデータのレクアラブナ河施であること。 サービス接供聴聞 サービス接供聴聞 フイセンス数 6 共選事項 7 管理者例ライと を担望を持つかとは、同時接続が可能であること。 大選事項はよりなは40であること。ただし、Qで等の予定された停止については、この場ではない。 を担づカウントは、同時接続不可の場合 は37かつとり、Lとすること。 (利用者およびサービスを提供する管理者の方にとって、わかりやすく、操作性が高 るること。 イ用者およびサービスを提供する管理者の方にとって、わかりやすく、操作性が高 スタンと。 (対理を的企業が内ではない。 ・カーにより方とないないでは、コーザは無制限に登録で前をマーフ・カーク・フトを持てがつかる。 ・カーとは、クルーク・フトを対象で用しなっとからから、連むが用しいすいユニノに・サルタラザインであること。 ・カーにカークランド ・カーとは、アドラリ酸とは、アトラリをは、フトラリンドのは、フトラリンドのは、フトラリンドのは、クルーク・フトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドのは、アトラリンドので	_			環境		
			+ ビフ+目/++ エ罒+辛			
S. Windows11Pro (22H2) SDD: 100GB			リーレ人症状場場			
SDD: 10008						
プラウザ:Microsoft Edge					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
2						
1-						
日次によるデータの(アクア)が可能であること。						
3 大約漁美工、長の書や連携工会は、よりデータを満失した場合、直近のパックアップテンプレストが可能であること。 4 サービス提供時間 5 カイセンス数 6 共通事項 7 管理者側テイセンス数 7 同時接続が可能であれば1アカウント、同時接続不同の場合は2アカウント以上ですること。ただし、ユーザは無制限に登録可能であること。(利用施味数約800台※1、GWAN系のネットワーか上接続されたパソコン数)をあること。操作性	2	•			1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
1		•		データ管理		
サービス提供時間 1	3					
1	4			井 じっキョ/サーハ+ロロ		
5 大通事項 管理者側フイセンス数 音響者がカウントは、同時接続が同能であればアカウント、同時接続不可の場合は37カツント以上できること。 7 は37カツント以上できること。 同時接続可能なユーザ数は40であること。ただし、ユーザは無制限に登録可能であること。 8 デザイン・操作性 デザイン 表示画面上の項目配置や色使い等、維む利用しやすいユニバーサルなデザインであること。 9 10 利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすび、操作性が高く、効率的な適用が可能であることを示す。 9 フラー情報の上側が同能であることを示す。 ステムログ アウセス・操作ログを取得すること。 11 「情報セキュリティ」 「情報とセュリティ」 「情報とかり、アウェス・操作ログを取得すること。 エエフログラム対象に係るパッチやパークシスアルは存む、は、対策を取得すること。 12 「情報セキュリティ」 「情報とセュリティ」 「情報とサュリティ」 「大き アンクの提供を取得すること。」 ステム (サービス) の縁他環境及び開発・デスト環境を取得すること。 フステム (サービス) の縁他環境及び開発・デスト環境で用いるのSやソフトウエア は、不正プログラム対策で限のプトアントプロをご覧をできる取得を発きるとれ、対策を関するとれて、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれ、対策を関するとれて、対策を関するとれ、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を関するとれて、対策を対策を関するとれて、対策を対策を関するとれて、対策を対策を対策を関するとれて、対策を対策を対策を関するとれて、対策を対策を対するとれて、対	4			リーC人提供時間 		
1						
6 共通事項 ス 同時接続中間をユーラが認和りじめると、ただい、ユーリは無機限に登録す即能であること。 (利用端末数約800台※1、GWAN系のネットワーグに接続されたパソコン数) 7 デザイン・操作性 デザイン 表示価価上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルタデザインであること。 8 サービスを保付する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、外等的は連用が可能であることを示す。 利用着るよびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、外等的は連用が可能であることを示す。 9 システムログ エラー情報の形態やUFLVの必要信心要なるの/情報を取得すること。 10 アウセス・操作ログ 管理システムのアクセスログ・操作ログを取得すること。 11 情報セキュリティ デアクス・操作ログ ステムログ 12 エデエプログラム対策にあること・アクレスが起きないよう対策を講じるとされる。 アウセスの 操働環境及び開発・テスト環境に関立のSヤンアクシアクシアクシアクシアクシアクシアクシアクシアクシアクシアクシアクシアクシア	5			管理者側ライセン	は3アカウント以上とすること。	
5			ライセンス数			
7	6	共通事項		^	あること。	
デザイン・操作性						
10	7			デザイン		
10 10 10 10 10 10 10 10		•	デザイン・操作性			
10 11 12 13 14 15 15 16 16 17 17 18 18 19 19 10 10 10 10 10 10	8			操作性		
10	0	,		システムロガ		
11		•				
「情報セキュリティ 「情報セキュリティ 大きに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。	10	ı)	システム(サービス)の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウィ	
「情報セキュリティ 不正プログラム対 策	11				ルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じる	
13			情報セキュリティ	不正プログラム対		
13				策		
13 日本条件 日本条件	12			•	は、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準	
13					備すること。	
14 契約満了時等の	12			タカニ カの担供	発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報については、	
対応	13		サービス終了時・	休有ナータの提供	全て抽出し発注者に提供することを指定。	
15 対応 特別にシステムから消去すること、消去においては、復元不可能な状態にすることを指定。			契約満了時等の	保有データの消去	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、保有データの提供ののち、速	
15 16 統計機能	14		対応		やかにシステムから消去すること、消去においては、復元不可能な状態にすることを	
16 関係法規制への 対応		,		য		
16 関係法規制への	15		統計機能	_		
対応 対応 動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。						
対応 動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。 (必要な場合)	16			_		
17 著作権			对心			
17 18						
用を含めた使用の評話話を得た上で、必要となる一切の手続き及び使用料の負担等は受託者が行うこと。 18	17		著作権	_		
18						
19 20 21資格管理管理側アカウント 管理法・認証方法ユーザIDとパスワードにより利用者認証ができること。 登録できるユーザー数は無制限であること。 管理者によるパスワードのリセット又は再設定ができること。 職員アカウントは、所属ごとなどでグループ設定でき、各グループごとに利用可能な情報の権限設定を行えること。23世図の種類・ライセンス住宅地図の同時接続ライセンスは20とする。 住宅地図データは株式会社ゼンリン製の「Zmap-TOWN II (御殿場市)」とし、導入時に一括契約方式で受注者が調達し、5年間毎年最新のデータが使用できるようにすること。25地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。 地形図、背景用民間地図等の元データがベクタレイヤの背景図については、タイル画像化して表示できること。	4.0			左 左∓田√= +□		
20		•			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
21			管理側でカウント			
アクセス制御 職員アカウントは、所属ごとなどでグループ設定でき、各グループごとに利用可能な情報の権限設定を行えること。 23		資格管理		広•祗証力法		
22			旨 生			
23 4 基本条件 地図の種類・ライセンス 住宅地図の同時接続ライセンスは20とする。 24 25 25 できること。 25 26 中別の種類・ライセンスは20とする。 25 中別の行列の種類・ライセンスは20とする。 25 世界図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。 26 中別の「Zmap-TOWN II (御殿場市)」とし、 事品のようにすること。 25 世界図、前景図の切り替えができること。 26 中別の「Zmap-TOWN II (御殿場市)」とし、 事品のようにすること。 25 世界図、背景図の切り替えができること。 26 中別の「ステント」できること。 26 中別の「ステント」できること。 26 中別の「ステント」できること。 26 中別の「ステント」できること。 27 中別の「ステント」できること。 28 中別の「ステント」できること。 29 中別の「ステント」できること。 29 中別の「ステント」できること。 29 中別の「ステント」できること。 29 中別の「ステント」できること。 <td <="" rowspan="2" td=""><td>22</td><td></td><td></td><td>アクセス制御</td><td></td></td>	<td>22</td> <td></td> <td></td> <td>アクセス制御</td> <td></td>	22			アクセス制御	
24 地図の種類・ライセンス 住宅地図 住宅地図データは株式会社ゼンリン製の「Zmap-TOWN II (御殿場市)」とし、 導入時に一括契約方式で受注者が調達し、5 年間毎年最新のデータが使用できるようにすること。 25 地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。 地形図、背景用民間地図等の元データがベクタレイヤの背景図については、タイル画像化して表示できること。		23	基本条件		住宅地図	
24 基本条件 センス 様名地図 導入時に一括契約方式で受注者が調達し、5 年間毎年最新のデータが使用できるようにすること。 25 地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。 地形図、背景用民間地図等の元データがベクタレイヤの背景図については、タイル画像化して表示できること。						
25 おいまして		導入時に一括契約方式で受注者が調達し、5年間毎年最新のデータが使用でき				
25 地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。						
26 背景図	25					
26 地形図、育景用氏間地図寺の元テータがベクタレイヤの育景図については、タイル 画像化して表示できること。	25					
画像化して表示できること。	26			日泉凶		
27 、		,				
	27			凡例機能	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。	

1

_	T	1		1
28				表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。
29				表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。
				異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画
30			地図表示	面内に並べて表示できること。
31	İ		- CLI EVI	並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。
	ł			
32	ļ			施設情報や地図コンテンツと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。
33				背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。
2.4				表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表
34			索引図表示	示の切り替えができること。
35	İ		N SILL EVS	索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。
	ł			
36	ļ			図形情報に対応するポイント(点)、ライン(線)、ポリゴン(面)を表示できる
37				図形(アイコンシンボル、線、面)の表示設定は、複数色、複数種類から選択で
3,				きること。
				点レイヤと属性情報で構成されるシンボル情報を表示できること。また、点レイヤは
38				アイコンとして表示できること。
39	ł	地図表示機能	主題情報・シンボ	
	ł			
40	ļ		ル情報	属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できること。
41				ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できること。
				縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表
				示できること。
42				
				また、ラベルやアイコンは、縮尺に応じて非表示にできること。非表示とする縮尺は、
	ļ			アイコンごとに設定できること。
43	ļ			施設情報や地図コンテンツに関連ファイルを設定できること。
11			関連ファノリ	アイコン、線レイヤ及び面レイヤをクリックすることにより、関連ファイルを表示できるこ
44			関連ファイル	¿,
45	†			画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。
	†			
46				表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小できること。
47			拡大縮小	表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し拡大できること。
48			JAZ Z ZINILI J	レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。
49				マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小できること。
	İ			マウス操作により表示地図の任意の箇所1点を指定し、指定した箇所を画面の中
50				
	ł		エクチム	心に表示できること。
51			移動	画面上に表示されるボタン等により、地図を任意の方向に一定割合で移動できる
31	110米台北級約			こと。
52	利用者向け機能			マウス操作により地図をつかんだようにして移動できること。
53	Ī		1 11	線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。
54	İ		レイヤ表示等	レイヤ単位及び分類単位で表示・非表示の切り替えができること。
55	ł	レイヤ管理等		
	ļ		マイレイヤ	ユーザごとにマイレイヤの追加・編集・削除ができること。
56			7	マイレイヤに属性テーブル、属性項目の追加・編集・削除ができること。
57			属性情報管理	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設
57			尚江阴郑吕珪	定し、追加・編集・削除ができること。
58	İ		属性情報表示	地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。
59	ł	属性機能	属性一覧	地図上の地物の属性一覧を表示できること。
	ł	/禹江/戏形		
60	ļ		属性検索	属性一覧画面から地物を検索できること。
61			属性データ型	属性情報として以下のデータ型を設定できること。
01			海江ノーラ空	数値、文字列など
62]		住所検索	住所情報による地図検索ができること。
_	†			住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「一」「一(長
63				
	ļ			音)」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。
64	ļ		目標物検索	目標物による地図検索ができること。
65		検索機能	山水が大木	キーワード入力による地図検索ができること。キーワードは文字の部分一致で検索
65		1火术1成化		できること。
66	†			リスト選択による地図検索ができること。
67	†		ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。
	 		//- *	
68	ļ		座標検索	経度・緯度を指定して位置が検索できること。
69	ļ			地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。
70				画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や
70				凡例をあわせて印刷できること。
	†			都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したも
71				
	ļ		印刷	のに固定できること。
72	ļ			コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。
70				印刷する際のレイアウトを予め指定した独自の様式に変更できること。(印刷テン
73				プレートの設定)
	†			
74		印刷・出力		画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できるこ
				と。
			データ入力・出力	CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、出力項
75				目等の管理が可能であること。
7.0	†			
76	 			CSV等の多様なデータ形式のインポートができること。
	Ī			マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。
77	ł		- 1 5-2	
77 78			計測	距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。

統合型地理情報システム機能要件一覧

79				計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。
80		作図機能	作図	地図上に一時的な図形(点・線・面等)を作成できること。
81				一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。
82	管理機能	1お知らせ機能	お知らせ、新着情	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやす
02			報の表示	い位置に表示できること。
		公開管理	公開データ登録	公開型GISとの円滑な連携ができること。
83				公開型GISとの連携のためのデータ作成ができること。
				公開型GISとの連携は、外部媒体等を使用するものではなく、連携ツール等による
				公開・非公開の設定等ができること。